【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2007-231093(P2007-231093A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2006-52703(P2006-52703)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｋ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｋ　3/00　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月26日(2009.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明のアスファルト付着防止剤は、舗装品質をより安定した状態に仕上げることでき、かつ、タイヤローラ等の締固め機械のタイヤなどにアスファルトが付着するのを防止し、タイヤの劣化や装置の稼動効率の低下を軽減するとともに、付着防止剤による環境汚染を防止することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明における植物系脂肪酸エステル類は、タイヤローラ等の表面に油膜を形成してアスファルトの付着を防止するものとして配合される。この植物系脂肪酸エステル類としては、ダイズ油、ナタネ油、綿実油等の植物油とアルコール類との反応によって得られる脂肪酸エステルが使用できる。これらの脂肪酸エステルは、１種または２種以上を併せて使用することができる。生分解性の観点からダイズ油、ナタネ油、綿実油に由来する脂肪酸エステルが好ましい。特に、付着防止性及び付着物の除去性の点で、ナタネ油遊離脂肪酸のメチルエステル、エチルエステルが好ましい。
植物系脂肪酸エステル類は、植物系脂肪酸エステル類とソルビタン系脂肪酸エステル類、グリコール類及び沸点が１６０℃～２００℃の脂肪族炭化水素とからなる組成物（以下、本発明組成物という）に対して、２５～４５質量％の範囲で用いられ、好ましくは３０～４０質量％、より好ましくは３０～３５質量％である。以下、特に記載しない限り、％は質量％を示す。